





# 第十二回商工会議所青年部全国大会報告(山形)

## 全国商工会議所青年部連合会 設立十年記念山形大会

実行委員長 佐藤 善三郎



第十二回商工会議所青年部全国大会は、去る十一月六日(金)・七日(土)の両日、山形県山形市の総合スポーツセンターを主会場に、山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催されていた。紙にありがとくご報告いたします。

特に今年は商青連設立十年の記念すべき大会であり、このよき節目の年に開催させていただいたことはたいへん喜ばしく、またこれは商青連の歴史からいって、山形県から開催された初めての大会でも、去る十一月六日(金)・七日(土)の両日、山形県山形市の総合スポーツセンターを主会場に、山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催されていた。紙にありがとくご報告いたします。

大会は、十一月六日(金)は、山形県山形市の総合スポーツセンターを主会場に、山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催されていた。紙にありがとくご報告いたします。

十一月七日(土)は、山形県山形市の総合スポーツセンターを主会場に、山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催されていた。紙にありがとくご報告いたします。



日本商工会議所 石川 俊樹

石川俊樹氏による講演の様子。会場は盛況で、多くの参加者が聴き入りしている。

山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催された。紙にありがとくご報告いたします。

山形県商工会議所青年部連合会が中心となって開催された。紙にありがとくご報告いたします。



表彰式の様子。受賞者への祝福と励み。

## 何でも相談(Q&A)コーナー?????

このコーナーは、全国の青年部活動における悩み、問題点などを集め、商青連スタッフがお答え、アドバイスしたものです。



Q 私共青年部は定員して足掛け4年目に入ったところでございます。今までの青年部活動は青年企業人としての自己研鑽を主とし、学習と体験をかなり実施してきました。目標に活動して参りました。目標より会員との会話の中で話になるのが同じ青年企業人の団体である青年会議所(よこ)と商工会議所青年部との活動内容についての違いについてです。今後の会員増強を踏まえても会員全員が統一した考えで活動していくためにも、1.活動内容、2.各地域での位置付け、3.親会である商工会議所の扱い方などについて各地域により違いは有るとは思いますが解答をよろしくお願ひ致します。

北海道ブロック内青年部  
A 前編でも資料の中に今更の質問と関連している方が多いですが、我々青年部活動の本質は、商工業界、経済界について地域の又、各自の創的ビジネスに関する活性を考へ、かつ発展推進することを図る、どちらかといえどもJCIはあらゆる広域性をもった活動であり、我々青年部は、経済専門の組織とした活動から派生したものととらえてはなりません。  
それは、中小企業界の支援活動もあり、又、親会議所のイベントへのパトナリーとしての協力、そしてさらには全国商青連会への街づくりの参加、土曜を行なう、又、地域の他団体へ活動アピール、そして行政団体、他団体へ参入を図り、商工会議所青年部を認識してもらふ活動をする。  
となく活動をする中で、シンボリズムのシンボリズムをして、それで満足していることが多い。  
一、始めに顔の活性……研修、講義  
二、身体の活性……運動  
三、顔と身体の活性……活動していったものから、さらに中身の研究→活動  
上記の考え方は、街づくりの目的に向ってどのようなアローナからプロジェクトにするかを一連の計画で方向づけして活動する考え方と致します。それを各地域で考えてもらいたい。  
最後は質問の親会との関わり、扱い方の質問ですが、もともと親会からの推薦で形成されたものから、親と子である関係は密接なもので、但し質問の意味があまりよくわかりませんし、もっと中身を聞いてみたいと思いますが、会議所と青年部のパイプ役がないものでしたら、入を参入してもらって親会議所と交流を図るべきかと考えます。

Q 商工会議所全国青年部にC1が導入されY E Gが制定されてから、はやいもので3年目を迎えました。  
このY E Gは我々の商青青年部にもすっかり馴染み、その主旨もコンセプトも各会員に浸透してきた様に思われます。又、このY E Gは青年部内だけでなく、対外的にも全国的にひろがりを見せている様であります。  
そこで質問ですが、このY E Gの名称・ロゴマーク等は正式に商青連登録されているのでしょうか？  
商工会議所青年部(Y E G)におきまして、商標という言葉がふさわしいか否かはわかりませんが、今後このY E Gが全国的に普及し、ますますひろがりを見せていけば、例えば企業あるいは他団体等に使用される事もありうるのではないのでしょうか？  
Y E Gとは商工会議所青年部唯一の呼称であり、その意味を持つ主旨もコンセプトも商工会議所青年部ならではのY E Gとして位置づけをするために、商標登録の登録、又商青連として商標登録についての今後の考えをこの回答下さる様お願い申し上げます。  
商青連事務局

A 二事知のとおり、商工会議所青年部のC1は、平成2年度の商青連の特別事業として導入、その結果、Y E Gも制定されました。その際、商青連役員から、ご質問と同様の趣旨の御相談がありました。  
専門家等にも相談をいたしました。既に商工会議所マークが商標およびサービスマークとして正式に登録されているので、青年部が商工会議所活動の一環を担う組織であり、青年部のシンボルロゴマークが商工会議所マークとY E Gという文字を組み合わせているというセットの形になっていることから、改めて商標に登録する必要はないという結論に達しております。  
この考え方は、現在でも基本的に変わりありません。しかしながら、Y E Gが制定されて2年が経過しようとしており、商青連活動の観点として、Y E Gの普及を強力に推進していく中で、それに対する各地からの反応の一つとして、商青連設立10年記念誌「輝けY E G」に掲載されているような魅力的なY E Gグッズが誕生してきております。  
こうした動きが徐々に広がっている中で、青年部マークが青年部関係者限りで使用される場合に特許問題はないと思われませんが、ご指摘にもあるような新たな状況が生じてくる恐れもありますので、今後商青連役員会等におきまして、本問題を再検討する必要も出てくるかもしれません。  
商青連事務局

平成5年度商青連役員名簿

(敬称略・順不同)

Table with 4 columns: 商青連組織 (Organization), 青 年 役 (Youth Role), 氏 名 (Name), 職 名 (Position). Lists members from various prefectural chambers of commerce.



この一年を振り返り 曲がり角の向こう側の風景を最初に見るのは誰?

平成4年 商青連会長 神谷 竹彦

Main body of the article. Discusses the author's reflections on the year, the role of the Chamber of Commerce Youth League, and the challenges ahead. Mentions the 10th Central Research Conference in Toyama.

第10回中央研修会(富山)報告 はじめて東京をはなれて……



研修会での様子



研修会での様子

Detailed report from the 10th Central Research Conference in Toyama. Discusses the theme 'Starting to leave Tokyo...', the atmosphere of the event, and the author's personal observations and reflections.

参考資料

- List of references and related information, including dates and locations mentioned in the report.



第10回中央研修会













